

New Civil Engineering Heritage in Kyushu

プロジェクト九州 Ⅷ

人と技術と情熱の物語

高速道路の時代



鳥栖ジャンクション



「プロジェクト九州Ⅷ発刊にあたって」

（一社）九州地域づくり協会では、その前身の（社）九州建設弘済会の時代から、公益事業の一環として土木遺産の発掘調査の取組を始め、九州地域における近世から昭和期までの土木施設を対象にとりまとめ、当会のホームページに公表してきました。

さらに、この土木遺産含む数々の土木施設の建設に長年にわたり携わった先人たちにスポットをあてた取組を「プロジェクト九州」として、第七巻まで発刊してきました。

今回の第八巻「高速道路時代へ」は、九州の高速道路の生い立ちから本格的な建設時代を経て数多くの試練を先進的な英知で克服した土木技術者達の実像を描いた「人と技術と情熱の物語」です。

編集に際しては、戦後の技術力の乏しかった環境を探りながら、多彩な切り口で精力的に取材して戴いた筆者の情熱が随所に感じ取れます。各場面では、先進技術を学び現地に合うよう創意工夫しながら、高速道路造りに邁進した多くの関係者の苦勞が描かれています。

近年の社会資本整備に対する社会的評価は、必ずしも高いとは言えません。しかし、全国的に立ち後れた九州の高速道路網の構築に向かつて、脆弱で厳しい自然環境に立ち向かいながら、日夜尽力された技術者の生き様は、今に生きる我々に勇気と感動を与えるものと言えます。こうした履歴を経た九州の高速道路網はまだ整備途中に有り、早期に未整備区間をなくすためにも、今後も高速道路の整備とそのストックの活用は重要なテーマです。

この取組が改めて、多くの方々へ社会資本整備の重要度を認識いただくとともに、整備や維持管理に携わる人たちの志を高め、若い土木技術者教育の啓発に繋がることを祈念し、発刊のご挨拶といたします。

（一社）九州地域づくり協会

理事長 佐竹 芳郎

目次 第8巻 高速道路時代へ

はじめに 「鋼鉄はいかに鍛えられるか」 2

第一章 あけぼのの時―雲仙・島原道路、やまなみハイウェイの挑戦 5

第一節 ① 雲仙・島原道路―クロソイド曲線、大型機械の登場 7

② インタビュー 吉田 保氏 10

③ 現場証言 甲斐辰美氏 13

第二節 ① やまなみハイウェイ 14

② 現場証言 坂巻崇三氏 18

第二章 九州縦貫道路の建設 21

九州道 第一節 ① 九州高速道路時代へスタート 22

② インタビュー 藤田栄三氏 26

第二節 ① 立ちはだかる特殊土壌 30

② 現場証言 黒木勝良氏 32

③ 難敵、灰土、シラスへの挑戦 34

④ インタビュー 谷山和則氏 37

宮崎道 第三節 ① 宮崎道―日南層群と宮崎層群 40

② インタビュー 瀬戸山邦雄氏 42

第三章 クロスロード・九州横断道路（長崎道、大分道） 45

長崎道 第一節 ① 埋蔵文化財の宝庫に行く 47

② インタビュー 高島忠平氏 50

第二節 ① 23年かかった延伸 53

② 被災を越えて 日見夢大橋 56

③ インタビュー 河野正博氏 58

④ 鈴田橋「押し出し架橋」 62

⑤ オランダ坂トンネル・現場証言、村里静則氏 66

第三節 ① 鳥栖ジャンクション 初の四葉クローパー型 70

② インタビュー 北松輝喜氏、現場証言・園田郁善氏 72

大分道 第四節 ① 高原と山岳を走る横断道 74

② インタビュー 佐竹 正行氏・現場諸言・渡辺明氏 78

③ インタビュー 鶴窪 廣洋氏 81

第四章 九州最長の東九州道 85

第一節 宿願、東九州道。早生隆彦物語 88

第二節 生みの苦しみ、東九州道50年 94

第三節 ① 中央構造線を越える・佐伯―北川間 98

② 最後の壁 佐伯トンネル 103

第四節 ① 宮崎県の特異土壌―宮崎層群と日南層群 105

② 新名橋ルートの登場 108

○インタビュー 北田正彦氏（元西日本高速（株）九州支社長） 111

●時代を築いた高速道路（樗木武・九州大学名誉教授） 116

第五章 総括インタビュー 谷口博昭氏（日本道路協会会長）

あとがき 「地域史をめぐる高速道路」 125